

6月6日現在

2019 オールスターナイト陸上
秩父宮賜杯第59回実業団・学生対抗陸上競技大会要項
The 59th JITA-IUAUJ CLASSIC MATCH

1. 主催 一般社団法人日本実業団陸上競技連合、公益社団法人日本学生陸上競技連合
2. 後援 厚生労働省、スポーツ庁、日本陸上競技連盟、神奈川県、神奈川県教育委員会、平塚市、平塚市教育委員会、毎日新聞、湘南ケーブルネットワーク
3. 運営協力 一般財団法人神奈川県陸上競技協会、東日本実業団陸上競技連盟、関東学生陸上競技連盟
4. 協賛 ミズノ株式会社

5. 期日 2019年7月27日(土)
開会式16時00分 競技開始16時15分 閉会式20時10分(予定)
6. 会場 ShonanBMW スタジアム平塚
7. 競技種目
◇男子10種目
100m、400m、1500m、110mH、400mH、4×100mR
走高跳、三段跳、砲丸投、ハンマー投
◇女子10種目
100m、400m、1500m、100mH、400mH、4×100mR
走幅跳、棒高跳、円盤投、やり投
◇ユニバーサル
男女混合リレー 4×400mR

8. 参加基準 1チーム1種目3名、
※4×100m リレーのエントリーは各チーム6名連記とする
※男女混合リレーのエントリーは各チーム8名(男女各4名ずつ)連記とする。

9. 選手団編成 両チームとも監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、男子競技者31名以内、女子競技者31名以内の合計66名以内で編成する。
10. ナンバーカード 実業団 男子1～31 女子1～31
学生 男子101～131 女子101～131
11. 競技について 1) 競技は2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。
2) 競技に使用する用具は主催者側が用意したものを使用しなければならない。
但し、棒高跳用ポール及び投てき物は個人所有のものが使用できるが、投てき物は検査を受け、許可されたものとする。
3) 出場競技者は、所属チームの公式ユニフォーム着用のこと。
4) 両連合承認の競技者については、オープン参加することができる。オープン参加者がいる場合、フィールド種目の試技順は正規の競技者の前、トラック種目では空レーンに入れる。試技順、レーン配置については両連合で協議のうえ、決定する。
12. 得点・表彰
・個人種目の得点は1位6点、2位5点、3位4点、4位3点、5位2点、6位1点とする。
4×100mR リレーは1位8点、2位4点とする。ユニバーサル男女混合リレーは1位8点(男女各4点ずつ)、2位4点(男女各2点ずつ)とする。
・表彰は総合並びに男女各優勝チームと個人において優秀な成績を収めた競技者に下記の賞を授与する。
・個人種目の表彰は第3位まで褒賞する。※2016年度大会より、2020東京オリンピックへ向け、陸上競技活性化のため、さらなる褒賞を与える。
・日本記録、日本最高記録、日本学生記録、大会新記録を樹立した者には別の副賞を与える。

【団体】

総合優勝チーム：秩父宮賜杯、内閣総理大臣杯
男子優勝チーム：文部科学大臣杯
女子優勝チーム：厚生労働大臣杯

【個人】

最優秀選手賞（男子）：学生連合会長杯
最優秀選手賞（女子）：実業団連合会長杯
敢闘賞（男女）：平塚市市長杯
M I P賞（男女）：河野一郎杯

13. 宿泊・旅費
- 1) 宿泊は原則として7月27日（土）の1泊の希望者を本部負担とする。ただし、必要に応じて7月26日（金）の宿泊も負担することがある。希望者は理由を添えて申し出ること。
 - 2) 旅費は、以下のとおりとする。
100km 未満…普通運賃
500km 未満…特別急行料金（新幹線含む）と普通運賃
500km 以上…特別急行料金（新幹線含む）と普通運賃及び航空運賃
ただし、学生は、学割料金とする。
 - 3) 当日競技会に出場しなかった者は、旅費・宿泊等は自己負担とする。（不慮の事故等の場合を除く）
14. ドーピングコントロール
- 1) ドーピングコントロールテスト
国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない外国人競技者も同様に従うこと。また、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。
 - 2) TUE申請
禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例（TUE）”の申請を行わなければならない。
詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ（<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>）、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ（<http://www.playtruejapan.org/>）および日本学生陸上競技連合HP（<http://www.iuau.jp/index.html>）内の「知っておきたいアンチ・ドーピングの知識 2019年版」を確認すること。
15. 個人情報の取り扱いについて
- 1) 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。大会の映像は、主催者の許可なく、第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。
 - 2) 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
16. その他
- 1) 競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側において行うが、それ以後の責任は負わない。原則として学生、実業団ともに保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。